

プロポーズに最適な場所として、NPO法人「地域活性化支援センター」（本部・静岡市）が全国で選定している「恋人の聖地」に、伯耆町の柵水高原が選ばれた。山陰では初めてで、関係者は「ロマンチックな高原の観光地としてPRしたい」と張り切っている。1日に東京都内で銘板が贈られる。

同NPOによると、弓浜半島や日本海を見下ろす景色の良さや高原ならではの開放感、紅葉の美しさなどが評価された。

「恋人の聖地」選定は、若者の情報発信力に期待し、観光地の広域連携を進めようと2006年に始まった。華道家の假屋崎省吾さんやファッションデザイナー桂由美さんが年4回審査し、これまでに神戸市の「神戸ハーバーランド」や高知県室戸市の「室戸岬」など96か所を選定。今回は、柵水高原を含めて7か所が加わる。

柵水高原は、標高900mの展望台へ上がる「天空リフト」や「大山バーガー」を売り出し中。リフトなどを運営している会社の河上貴一社長（38）は「聖地選定を起爆剤に、若いカップルにも楽しんでもらえるスポットにしたい」と話している。

大山・柵水高原「恋人の聖地」に

NPOが選定 山陰初 景色の良さなど評価